

光顔寺が手掛ける
寺院再建・再生プロジェクト

永代祠堂経法要

故人を縁とした懇志をうけて勤修され、
大切な人や自らのいのちのゆくえ「後生の一大事」を
浄土真宗のみ教えに聞かせていただく法要です
懇志後、初めての法要は開闢(かいびやく) 法要といわれます

どなた様も、ご案内した全ての法要・催しにご参加いただけます。是非、ご参加いただき、お聴聞ください

6月4日 光顔寺永代祠堂経法要

光顔寺石動祖廟(本坊)
テーマ 法蔵因位のご恩

進行

鐘楼改修落成慶讃法要 兼 総永代祠堂経法要

9:30 ～ 勤行
10:15 ～ 法話(40分×2)

12:00 ～ 御斎(お弁当)

総永代祠堂経法要

13:30 ～ 勤行
14:15 ～ 法話(40分×2)

16時頃終了予定



本年石動祖廟(本坊)においては
平成三〇年にご往生された前門徒総代・杉本忠男様の
御遺志により、ご懇念を賜り、鐘楼堂が改修落成した
慶讃法要も併せて執り行わせていただきます

御講師



宮部誓雅 師

浄土真宗本願寺派 布教使課程 専任講師
本願寺派布教使(大阪)

6月17日 光顔寺富山祖廟光明寺 親鸞聖人につどう会

進行

10:00 ～ 勤行(讃仏偈)
引き続き主催者ご挨拶
10:15 ～ 法話(40分×2)

12:00 ～ 御斎(お弁当)

14:00 ～ 勤行(重誓偈)
14:15 ～ 法話(40分×2)

16時頃終了予定

「本当の浄土真宗のみ教えをお聴聞したい」
元・親鸞会会員の熱い思いからこの会は始まりました。
昨今は統一教会などカルトの問題が社会的に騒がれる中、浄土真宗本願寺派の
伝統的な教えと親鸞会の教えがどう違うのか、元会員のみなさん一般の浄土真宗
門信や僧侶/寺族の方にも実際をお聞きいただきたく存じます。

参加費 一般 1,000円以上(お弁当付)
僧侶 3,000円以上(お弁当付)
主催 親鸞聖人につどう会
共催 埼玉恵日会、光顔寺富山祖廟光明寺
後援 光顔寺納骨堂、十六日講

テーマ 二河白道
御講師 阿部信幾 師

※ こちらは永代祠堂経法要ではありませんので
御蠟燭代の御寄進も受け付けておりません
下記の参加費をご用意ください

6月18日 光明寺永代祠堂経法要

光顔寺富山祖廟光明寺
テーマ 永代祠堂経とは? ～永代供養との違い～

進行

永代祠堂経開闢法要

9:30 ～ 勤行
10:15 ～ 法話(40分×2)

12:00 ～ 御斎(お弁当)

総永代祠堂経法要

13:30 ～ 勤行
14:15 ～ 法話(40分×2)

16時頃終了予定

御講師

阿部信幾 師

本願寺派輔教
本願寺派布教使(東京教区)
前・布教研究課程主任講師 兼 同専任講師
前・布教使課程 専任講師
前・東京仏教学院専攻科 講師
元・布教専修課程 専任講師
元・連研中央講師
東京都中央区 出身



旧光明寺ならびに光顔寺のご門徒様へ

※ 信徒様の御蠟燭代の御寄進は任意です。御寄進の有無にかかわらず法要にご参加、御法話をお聴聞していただけます

平素より、お念仏相続の尊いご縁にて両寺院の護持発展にご尽力を
賜わり、ありがとうございます。今回はお問い合わせの多い、記帳場へ
の金封等の出し方についてお伝えをいたします。

ご存じの方も多く、恐縮ではありますが、旧光明寺では、長い間の真宗
寺院の重要法要が厳修されず、伝統の継承が断絶しております。光顔
寺においても世代により世帯が異なるなど、世代間でお寺の運営や
行事にまつわる事柄が継承されない場合が多く改めてここにお伝え
させていただくものです。

その為、今回はご懇念・寺院収支にまつわることにについて恐縮ですが
御蠟燭代(御香資)や御佛供米代の金封の記帳場への出し方につい
て記載させていただきます。(御佛供米現物の場合はお米を入れた袋
に名前の記載があるかご確認願います)

旧光明寺記帳場につきましては、御米の保管場所がなく、光顔寺側の
保管場所も限界がある為、御佛供米は御佛供米代(お金)でお納めい
ただきますようお願い致します。

表

御蠟燭代
山田○
これらでも可
(地域で呼び名が変わります)
・御蠟燭代
・御香資
氏名はフルネームで
お願いします

裏

(例) 御蠟燭代 金壹万円也
御佛供米 米二升
御香資ならびに御佛供米代 金壹万円也
御蠟燭代 金伍仟円
御佛供米 金貳仟円

尚、当日どうしても参加できず、郵送される場合は記帳場
会計上下記までお送りいただけますと助かります

旧光明寺門信徒様の場合

光明寺所属を記載の上
〒932-0057 富山県小矢部市本町2-19
光顔寺内光明寺宛

光顔寺門信徒様の場合

〒932-0057 富山県小矢部市本町2-19
光顔寺宛